2025 年 8 月吉日

（公社）公益社団法人日本鋳造工学会　会員各位
（一社）日本鋳造協会　会員各位

主催（公社）日本鋳造工学会　東海支部
支部長　前田安郭
企画委員長　白川　博一
協賛（一社）日本鋳造協会　東海支部

（公社）日本鋳造工学会東海支部
2025 年度「鋳物技術講演会＆技術交流会」のご案内

拝啓　時下ますますご清祥の段，お慶び申し上げます．平素は日本鋳造工学会東海支部の活動に格別のご高配を賜り，厚く御礼申し上げます．

東海支部では本部「第 3 期中長期ビジョン」に掲げられている「日本での“モノづくり”，“人づくり”に貢献し，鋳造業界を元気にする」という想いを受け，鋳造業界が取り組んでいるテーマを「3 つのシンカ（**深化・新化・進化**）」+「**親化**」による仲間づくりを推進し，支部の学会活動を通じて会員の皆様のニーズ合わせて学会活動に参加できる環境づくりを進めています．

今回は，近年のデジタルモノづくりにおける喫緊の課題となっている AI に対応する企画として，**「デジタルものづくりにおける AI 活用」**をテーマに**技術講演会**を開催いたします．講演会終了後には**技術交流会**を開催いたします．

ご多忙の中とは存じますが，ご参加くださいますようご案内申し上げます．

敬具

記

【鋳物技術講演会】

開催日時：**2025 年 10 月 24 日（金）　13:00～16:45**
開催方式：ハイブリッド形式（会場 or リモートのどちらかを選択してお申込みください）
開催場所：【会場】シャインズ　　愛知県刈谷市東陽町２丁目１８番地　TEL：0566-24-3348
　　【リモート】　Zoom ウェビナー
講演内容：別紙「講演プログラム」をご参照ください．
定　　員：【会場】　50 名（先着順，定員に達し次第，リモートをご案内します）
　　【リモート】　100 名（先着順）

※リモート参加について
- リモート視聴をご希望の方は，当日参加する E メールアドレスを申込みフォームにご記入ください．
- 当日のウェビナーURL は後日，お申込み時の E メールアドレス宛にご案内します．
- 当日は開始 15 分前から入室できます．

参加料（消費税 10 %込）
- 日本鋳造工学会　個人会員，維持会員　5,000 円／人
- 日本鋳造工学会　学生会員　無料
- 鋳物組合会員，日本鋳造協会会員　5,000 円／人
- 非会員　22,000 円／人

【技術交流会】

開催日時：2025 年 10 月 24 日(金)　17:00～18:30
開催場所：【会場】シャインズ（技術講演会と同じ会場です）
定　　員：60 名（先着順）
参加料（消費税 10 %込）：

・日本鋳造工学会　個人会員，維持会員　　3,500 円／人
・日本鋳造工学会員以外　　5,500 円／人

＜参加申込方法＞

申込方法：東海支部ホームページ（https://jfs-tokai.jp/）よりお申込みください.

※ 締切後にキャンセルされた場合の参加料の返却はできません.
※ 申込は 10 月 17 日(金)までにお願いします.
※ 送金は 10 月 31 日(金)までにお願いします.

送金方法：銀行振込　三菱 UFJ 銀行金山支店　普通預金口座　支店番号 288
口座番号　1262063　（公社）日本鋳造工学会東海支部　ｼﾔ）ﾆﾎﾝﾁｭｳｿﾞｳｺｳｶﾞｯｶｲ ﾄｳｶｲｼﾌﾞ

※ 領収書は，銀行の振込受領証を持って代えさせていただきます.
※ 振込手数料はご負担願います.

お問い合わせ先：〒473-8501　愛知県豊田市高丘新町天王 1 番地
アイシン高丘(株)　先行開発部　技術管理Ｔ内
(公社)日本鋳造工学会東海支部　事務局　岩間由圭子
TEL：080-6166-6000　　E-mail：jfs-toukai@to.at-takaoka.co.jp

以上

【鋳物技術講演会】プログラム

司会　東海支部理事　花井　崇

（1）開会挨拶＜13:00-13:05＞　企画委員長　白川　博一
（2）講演（ご講演 30 分＋質疑 10 分）

講演①＜13:05～13:45＞
「講演①　導入：AI とは？」
名古屋大学 情報学研究科 知能システム学専攻　准教授　出口 大輔　氏
●講演概要

講演②＜13:45～14:25＞
「講演②　材料組織画像に基づく AI 特性予測技術の開発とデータ準備・解釈の課題」
国立研究開発法人産業技術総合研究所　村上　雄一朗　氏
●講演概要
アルミニウムの資源循環に向け，合金元素量の多いアルミニウム合金の光学顕微鏡画像から，
引張強さや伸びを予測する AI モデルを構築した．材料データの選定・整備や，予測結果の材料学的妥当性の検証において技術的課題が多く，これらへの対応を通じて得られた知見を報告する．
研究開発の領域では AI による予測等を行うのにデータが足りない，ということがよく言われます．
AI をする人たちは平気で『データを 1000 点ほど下さい』と言うけれど... AI を行う際の困りごと，苦労した点・工夫した点などを紹介

― 休　　憩　＜14:25～14:40＞―

講演③＜14:40～15:20＞
「講演③　外観検査自動化のための画像処理・AI 技術　－基礎知識と産学連携事例－」
中京大学工学部機械システム工学科 教授　青木　公也　氏
●講演概要
先ず，画像処理・AI 技術が「画像の何を，どうやって」製品の欠陥を検出・判定しているのか，その概要について説明します．後半は，研究室でこれまでに取り組んできた産学連携での外観検査自動化事例(自動車部品，素形材等)を紹介し，苦労した点，工夫した点について解説します．

講演④＜15:20～16:00＞
「講演④　実例 1：AI を活用した作業姿勢分析」
株式会社豊田自動織機　大竹　一世　氏
●講演概要
.
講演⑤＜16:00～16:40＞
「講演⑤　実例 2：鋳造ビッグデータ分析ツールの開発」
株式会社アイシン　小花　光博　氏
●講演概要
当社のダイカスト工程では，生産工程で起こりうる不具合の原因を分析し，工程設計標準に防止策を盛り込むことで，不具合発生の未然防止を行っている．分析の材料として，鋳造 1shot 当たり数百項目以上の鋳造条件をモニタリングしているが，その分析には熟練鋳造技術者のカンコツと時間を要する．
今回，その問題を解決すべく機械学習を活用した「ビッグデータ分析ツール」の開発を行った

（3）閉会挨拶＜16:40～16:45＞　企画副委員長　中村　勇人

主催：日本鋳造工学会 東海支部　　協賛：日本鋳造協会　東海支部

＜技術講演会 会場アクセス＞

詳細は会場 HP（シャインズ, http://www.shines-shokki.jp）をご参照ください.

○公共交通機関

（JR 刈谷駅から）

刈谷駅南口から徒歩 7 分

（講演会会場アクセス）